

オルタネータの断線、導通検査

久々の更新です。かなり寒くなりました。南信州地域である本校でも－6℃とかなり冷え込みました。一昨日は冬至であり、1年間で最も昼間の時間が短い日でした。これから少しずつ日が長くなります。

さて、そんな季節の移り変わりの中、12月22日(火)に農業機械科3年生がオルタネータの断線、導通検査を実施しました。あまり聞き慣れない“オルタネータ”という部品。自動車は灯火装置やエンジンの制御。カーナビゲーションシステムなどで供される電気を自ら生み出します。電気を英語で交流電流を意味する“alternating current”からきています。発電に関わる機器の点検を断線していないか、絶縁できているか、生徒が自作したサーキットテストを用いて確認しました。実際のオルターネータの画像はインターネットで画像検索をしてみてください(^^) / 独特のカタチです



担当職員より説明



発電するステータ(左)とローター(右)